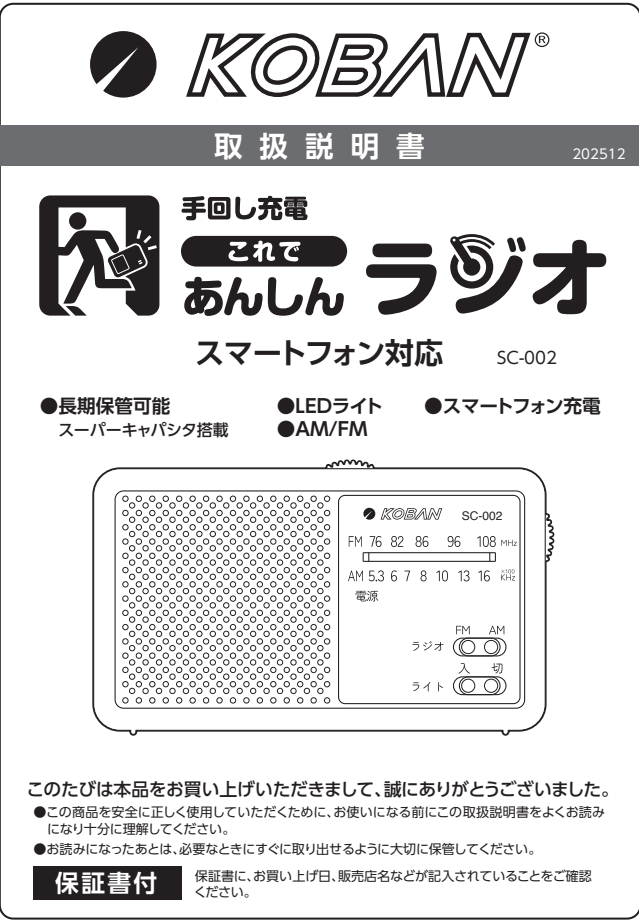




The diagram illustrates the features of the portable phone charger from three perspectives:

- 正面 (Front View):** Shows the top surface with a speaker grille (1), a digital display (2) showing frequency and battery level, a power button (3), and a charging port (4). The display also shows 'FM 76.82 85.95 108 MHz' and 'AM 5.3 6.7 8.10 13.16 MHz'.
- 背面 (Back View):** Shows the bottom surface with a large circular antenna (10) and a charging handle (11).
- 右側面 (Right Side View):** Shows the right side with a volume knob (5), a power button (6), and a charging port (7).

Numbered callouts 1 through 11 correspond to the following features:

- 1 スピーカー
- 2 切/音量つまみ
- 3 LEDライト
- 4 AM/FM切換スイッチ
- 5 ダイアル表示
- 6 LEDライトスイッチ
- 7 イヤホン端子
- 8 AM/FM切換スイッチ
- 9 選局つまみ
- 10 アンテナ (FM受信)
- 11 手回し充電ハンドル

本機には下記の付属品があります。ご確認ください。

- USBケーブル：
USB A ↔ USB Type-C (30cm) ※2
- 取扱説明書（保証書付き）

※1 イヤホンは別売です。ご使用の際は別途お買い求めください。

※2 適合しない携帯電話・スマートフォンがあります。お持ちの充電ケーブルをご使用ください。

※本機の外観および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。

※この商品は、日本国内用に設計、販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスは対象外となります。

※一部の機種など、充電に対応していないスマートフォンがございます。

1. 正常な使用状況で故障した場合。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、上記の保証書に必要事項をご記入ください。
3. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - ①本書の提示がない場合。
 - ②本書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - ③使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または修理や改造による故障または損害。
 - ④お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

株式会社太知ホールディングスでは、個人情報の重要性を認識し、厳重に管理いたしております。

主な特徴

緊急時や携帯用として役立ちます。

- ハンドルをまわして、内蔵のキャパシタに充電して使います。
 - *内蔵のキャパシタは交換できません。
 - ・ラジオAM、FMの2バンド受信できます。
 - ・「緊急時の携帯電話への充電」が可能です。(機種限定あり)
 - ・「ライト」搭載で暗いところでも安心。
 - ・「イヤホン」がつかえます。(別売り)

蓄電器には環境負荷が少ないスーパーキャパシタ(俗称)を使用しています。スーパーキャパシタ(以降、キャパシタと表記)は、電気二重層と呼ばれる固体と液体との界面に正負の電荷が蓄えられることを利用したエネルギー蓄積・供給デバイスです。活性炭粒の配合を最適化することによって大容量かつ低等価直列抵抗を実現。重金属を使用せず、環境負荷を軽減できる蓄電器です。

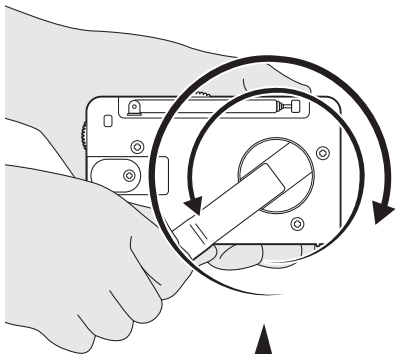
ご注意

- ・本機は防水仕様になっていません。ご使用や保管時には雨や水等が掛からないようにご注意ください。又雨や水等が掛かったり、濡れたりした場合は速やかに乾いたタオル等で拭き取りをお願いします。
- ・キャパシタは0℃～40℃の環境で、直射日光を避けて使用(保管含む)して頂ければ、おおむね10年程度は機能を保持すると言われてています。

ご利用方法

■お買い上げいただいた商品は出荷時にはフル充電されておりません。お使いになる前に充電してください。

1 電源(充電してつかう)



左右回転どちらでも充電できます。

- ハンドルをまわして、本体内部のキャパシタに充電してラジオを聞くことができます。
 - ①充電用のハンドルを引き起こします。
 - ②ハンドルをまわして充電します。
 - ・ハンドルは左右どちらでもまわせます。
 - ・1分間に150回～180回(※)ハンドルをまわしてください。又、まわしていると極端に軽くなる時がありますが、引き続き予定の回数までまわしてください。(※)：キャパシタの蓄電状況で変わります。1分程度で満充電になります。(ご注意)○「切・音量」つまみは「切」にしてください。
 - 「LEDライト」スイッチは「切」にしてください。

ご注意

- ・手回しの回転が遅いと所定の充電(蓄電)量が得られないことがあります。
- ・手回し回転は、180回転/分を大きく超えて速くまわさないでください。キャパシタの故障の原因になります。

ご注意



- 充電は0～40℃の温度範囲で行ってください。この温度範囲(0～40℃)以外ではキャパシタの寿命や性能を低下させることがあります。
- 本体を直射日光の強い所や、炎天下の車内やストーブの近くなど高温の場所で使用・放置しないでください。キャパシタの寿命や性能を低下させることがあります。

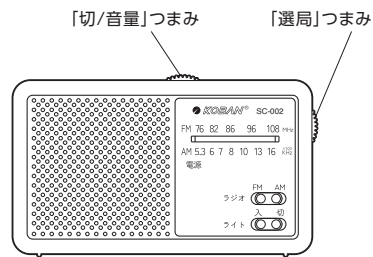
	動作状態	約150回転/分で1分間手回し充電した場合
A M ラ ジ オ	最大音量の約1/3の場合	約 15分
F M ラ ジ オ		約 15分
L E D ラ イ ト	点灯時間	約 10分

	動作状態	約150回転/分で5分間手回し充電した場合
スマートフォン	連続通話時間	約 3分
	連続待ち受け時間	約 30分間

※音量は最大の1/3程度の場合。

※スマートフォンでの接続時間は、お使いの機種やバッテリーの状態、使用状況により異なります。

2 ラジオを聞くには



- ①「切/音量」つまみを右にまわしてスイッチを入れます。
- ②本体のライトを「切」にします。
- ③「選局」つまみをまわして聞きたい放送局を選びます。(電波の弱い所やキャパシタ容量が低下している場合、点灯しない場合があります。)
- ④「切/音量」つまみをまわして音量を調節します。
 - *電源を切る場合は「切/音量」つまみを左にまわして「切」にします。

(受信状態)

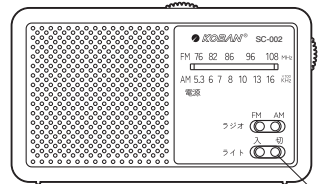
- AM放送
 - ・アンテナを本体内に内蔵しています。受信状態が良くなる方へ本体の向きを変えてください。
- FM放送
 - ・アンテナをまわすときには根元の部分を持って行ってください。無理にまわしたリ力をかけると破損することがあります。
- イヤホンで聞く ※イヤホンは付属されておりません。使用時はプラグ:φ3.5mmを別途お買い求めください。
 - ・イヤホンを端子につなぎます。イヤホンをつなぐとスピーカーから音は出なくなります。
 - ・イヤホンはモノラル・ステレオいずれも使用できます。

ご注意

- ・FM放送を聞く場合は、アンテナをいっぱいに伸ばし、よく聞こえる方向に調節してください。
- ・携帯電話充電中はラジオに雑音が入りますのでお聞きにはなりません。
- ・ラジオ使用時にライトを点灯するとノイズが入ることがあります。

電波の弱い場所(放送局から遠く離れている所。山間部、ビルの谷間、鉄筋ビル等で窓から離れた場所等)では受信できなかったり、聞き取り難い場合があります。

3 LEDライトをつかうには



LEDライトスイッチ

- ①「LEDライト」スイッチを「入」にするとライトが点灯します。
 - 参考：1分間(150回～180回まわす)の充電で約10分間一定の明るさで点灯します。
 - ライトは高輝度白色LEDを使用しています。

4 スマートフォン・携帯電話機への充電方法

スマートフォン・携帯電話機への緊急充電を要する場合の充電方法

手回し充電(蓄電)でスマートフォン・携帯電話機へ充電する

- ①スマートフォン・携帯電話の電源を切ります。
- ②本体(SC-002)の電源、ラジオ、ライトを「切」にします。
- ③付属USBケーブル USB Type-Cプラグをスマートフォンに接続し、USB Aプラグを本機の「●携帯電話充電端子」に接続します。
 - USB A接続端子は表・裏の形状が異なります。正しい方向で確実に差し込んでください。
- ④1分間(150～180回まわす)の充電で連続通話約2分、連続待ち受けは約1時間ご使用になれます。
 - ※スマートフォンの場合は5分間の充電で連続通話約3分、連続待ち受け約30分

ご注意

- ・完全に放電しまったスマートフォン・携帯電話への充電はできません。
- ・充電時に手回し充電ハンドルは1分間に150～180回(約3回/秒)の速さでまわさないと充電不足になりますのでご注意ください。

ご注意



- ご使用のスマートフォン・携帯電話機に登録されてある各種メモリーは、必ず、控えを取ってから本機での充電を行ってください。万一、本機での充電に際し、メモリーが破損、消失しましても当社は、一切の責任を負いかねますので、予めご承知おきください。
- 本機の携帯電話充電ジャック、携帯電話機接続プラグおよび、ご使用のスマートフォン・携帯電話機の外部電源接続端子などの差し込み部分にホコリなどが付着していると、ショートなどの思わぬ事故の原因になることがありますので取り除いてから接続してください。
- 新製品など適合しない場合がありますので、ご購入の際はご確認ください。

